

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

❏ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声が入切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては設定を選択できません。

自動転送の設定操作

- 1 メインメニューの[⚙️]にタッチします。
- 2 [Bluetooth／機器]にタッチします。
- 3 サブメニューから、設定する Bluetooth®機器にタッチします。

Bluetooth®機器が1台以上登録されていないと表示されません。

- 4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[電話]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[オーディオ]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[Apple CarPlay]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。切り替えによって接続がすぐに開始されるわけではありません。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

設定項目	内容
[Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 Android Auto を使用中に設定を OFF にすると、[電話]設定が ON になります。
[サブ機器として設定]	サブ機器に設定できます。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[サブ機器として設定]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[サブ機器設定の解除]	サブ機器から解除できます。
[切断]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。
[削除]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。

● 「音量」

設定項目	内容
[着信音量]	着信音量を調整できます。*3
[受話音量]	受話音量を調整できます。*3

● 「共通設定」

設定項目	内容
[着信音]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 既存の着信音を設定します。 着信相手の名前を読み上げる設定にします。
[連絡先の並び替え]	連絡先に登録してある名称の表示を次のように変更できます。

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。切りかえによって接続がすぐに開始されるわけではありません。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

*3: 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

設定項目	内容
[連絡先の並び替え]	<ul style="list-style-type: none"> 名／姓の順に変更できます。 姓／名の順に変更できます。
[通話履歴の削除]	<p>ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。</p> <p>[自動転送]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されません。</p>

● 「連絡先」

自動転送する／しないは、
こちらの項目より設定します

設定項目	内容
[自動転送]	<p>連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。</p> <p>設定を OFF から ON に切り替えた場合、電話帳の自動転送が始まります。</p>
[連絡先の画像表示]	<p>連絡先画像の表示設定を ON/OFF できます。</p> <p>[自動転送]設定が ON でなければ、連絡先の画像をマルチメディアにダウンロードできません。</p>

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、手動転送（OPP）か自動転送（PBAP）のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話がどちらに対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送（PBAP）するには、Bluetooth®設定で[自動転送]を ON にする必要があります。

知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります）
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
 - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは [1234] を入力してください。
 - 手動転送（OPP）に対応していない電話機は、連絡先を Bluetooth®で追加登録ができません。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中は、次のように対応します。
 - 手動転送（OPP）中に着信を受けた場合は、携帯電話本体での通話になります。手動転送中はマルチメディアシステムから発信できません。
 - 携帯電話が自動転送（PBAP）にも手動転送（OPP）にも対応していない場合、Bluetooth®を使用して連絡先データを転送できません。ただし、連絡先データは USB メモリーから転送できます。

- 連絡先データ転送中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。（転送された一部のデータも保存されません。）
 - マルチメディアシステム側のメモリ容量により途中で自動転送（PBAP）が終了したとき。
 - 何らかの原因で自動転送（PBAP）が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送（PBAP）機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送（PBAP）で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送（PBAP）で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送（PBAP）が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像を表示するには、Bluetooth®設定で[連絡先の画像表示]を ON にしてください。連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で[自動転送]と[連絡先の画像表示]を ON にする必要があります。

手動転送の操作方法

手動転送（OPP）を利用して携帯電話の連絡先データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（連絡先データ）を、手動転送（OPP）を利用してマルチメディアシステムへ転送できます。

[自動転送]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]が OFF になります。

- AppleCarPlay／AndroidAuto を使用している携帯電話では、手動転送（OPP）による連絡先データ転送はできません。

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [連絡先の更新]にタッチします。

3 次の転送方法を選択します。

[Bluetoothで上書き登録]: 現在の連絡先データに上書きします。

[Bluetoothで追加登録]: 現在の連絡先データに追加します。

4 携帯電話を操作して連絡先データを転送します。

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



USBメモリによる転送方法

USBメモリーの連絡先データを転送する

USBメモリーに登録してある電話番号（連絡先データ）をマルチメディアシステムへ転送できます。

- [自動転送]がONに設定されている場合、電話帳転送完了時に[自動転送]がOFFになります。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- USBメモリーの連絡先データは、vCard形式（.vcf）のデータのみ転送可能です。
- USBメモリー単体では転送できません。携帯電話をマルチメディアシステムで使用できる状態にしてから操作してください。

1 USB Type-C 端子に USBメモリーを接続します。

2 メインメニューの[📞]にタッチします。

3 [連絡先の更新]にタッチします。

4 次の転送方法を選択します。

[USBで上書き登録]: USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに上書きします。

[USBで追加登録]: USBメモリーの連絡先データを現在の連絡先データに追加します。

5 ファイルリストから、転送したいファイルを選択します。

6 [OK]にタッチします。

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



知識

携帯電話の機種によっては、USB 接続している携帯電話で vCard 形式のデータを連絡先として転送できます。携帯電話に接続している SD カードなどのデータからも転送できる場合があります。